

給食だより

令和7年度

5月号



西東京市立保谷第一小学校

新学年で過ごす、給食の時間がスタートしました！

新年度が始まり、早くもひと月が過ぎようとしています。4月16日から給食が始まった1年生は、待ちに待った給食をとてもよく食べてくれています。担任の指示をしっかりと聞き、配膳や当番活動も一生懸命に取り組んでいる姿が立派です。苦手な食べ物がある児童も、無理なく、少しずつ挑戦するきっかけとなるよう献立を考えています。片付けの際には6年生が来て、1年生をフォローしていますが、とても頼もしいです。



5月の献立より



2日 八十八夜 抹茶マフィン

5月1日の八十八夜にちなんで、抹茶のマフィンを焼きます。八十八夜は立春から数えて88日目で、この時期までは遅霜がおりることがあるので農家に注意を呼びかけるために始まった暦日です。八十八夜は緑茶の茶葉を摘む作業の最盛期と重なり、この日に摘んだお茶を飲むと、長生きできるといわれています。

8日 初鯉のおろし和え

「目には青葉、山ホトトギス、初鯉」という句にもあるとおり、初夏は鯉の旬の季節です。下味をつけた鯉を竜田揚げにし、大根おろしをのせたおろし和えにさせていただきます。

14日 体力向上メニュー 体力アップまめまめキーマカレーライス 切干大根と小松菜のサラダ

15日、16日の体力テストに備え、体力向上メニューを取り入れました。運動をすると失われやすい鉄分を補うため、鉄分の多い大豆・ひよこ豆をカレーに、切干大根・小松菜・ツナをサラダに使用しました。

20日 そら豆のサラダ 22日 グリンピースとわかめのごはん

そら豆は1年生に、グリンピースは2年生に、それぞれさやむきのお手伝い体験をしてもらいます。自分たちの手や目で、直接旬の食材に触れられる貴重な機会としたいと思います。

給食で政府備蓄米を使用します。

気候の変化などによる不作によりお米が不足するときに備え、国が毎年一定数量、玄米を保管しておく、政府備蓄米制度というものがあります。米の価格高騰等に伴い市場に放出が開始された備蓄米を、学校給食でも使用できるようになりました。公益財団法人東京都学校給食会を通し、各校に納められています。納品される備蓄米は令和6年産国産ブレンド米で、使用銘柄、産地については都度切り替わる可能性があります。保谷第一小学校では、市内米穀店から届く米と併用し、4月から月2回程度使用しています。

今月の地場&産直農産物

中町 都築勲さんより…レタス、ほうれんそう
向台町 田倉農園さんより…だいこん、こまつな
下保谷 本橋和利さんより…きゃべつ、だいこん



にしとうきょうしのうさんぶつ

西東京市農産物

キャラクター

めぐみちゃん